

リーダーたちの本棚

Leaders as Reader

企画・制作 朝日新聞社メディアビジネス局 広告特集

R

[読む] Reading

研究者の境遇を自分に重ね、共感

「自分が常識だと思っていることが、本当にそうなのか。読書を通じて多様な視点に触れることで、思い込みをリセットしてきます」と、掬川正純さん。今年1月にライオンの社長に就任。濱逸夫会長と二人三脚で、既存事業の拡張と新規事業の開拓に取り組んでいる。

データの裏にある真実を 読み解くことの大切さ

私は研究出身で、「イノベーションのジレンマ」は研究所長をしていた15年ほど前に読みました。既存ビジネスで成功している企業が、ディスラプター業界の常識にとらわれない革新的なアイデアで急成長する新興企業の出現にう



ライオン 代表取締役社長執行役員 最高執行責任者 1959年神奈川県生まれ。84年東京大学農学部卒。同年ライオン入社。執行役員ヘルス&ホームケア事業本部長、代表取締役専務執行役員(企業倫理担当、ウェルネス・ダイレクト事業本部分担、国際事業本部分担、化学品事業全般担当)などを歴任。2019年1月から現職。

L

人々の心と身体へのヘルスケアを実現

[導く] Leading

ライオンは昨年、2030年に向けた新経営ビジョン「次世代ヘルスケアのリーディングカンパニーへ」と、その実現に向けた新中期経営計画を策定した。外部環境の変化をふまえ、将来に向けた変革を加速させるという決意表明だ。「健康寿命の延伸はもとより、人々の生活習慣を楽しく前向きなものへと「リ・デザイン」することで、心と身体へのヘルスケアを実現する。そんな思いを込めた経営ビジョンです。歯みがきを通して親子の触れ合いが増える楽しさや、口臭を気にせず話せる喜びなど、「義務」を超えたヘルスケアの価値を示していきたい」と語る掬川正純社長。企業が果たすべき社会課題としてはSDGsへの貢献を挙げる。「当社は製品の組成開発において高い環境意識を維持してきました。近年はプラスチックごみの低減を目指した容器の開発なども進めています。何よりも心身両面のヘルスケアに寄与する企業活動そのものがSDGsへの貢献と考えています」

3月に「越境事業推進室」を新設

目指す企業像は「日本生まれ、アジア育ちの世界企業」。この3月には「越境事業推進室」を新設。各部署に分散していた越境事業を社長直下の専任部門に結集させることで、事業のスピード感や統一感を高めるべし。グローバルイメージを醸成しつつ、国・地域の事情に合わせていく「グローバルライゼーション」による海外事業の成長加速を目指す。「例えば、当社は歯科医院と連携して予防歯科運動を長く行っています。これを海外で展開する場合、歯科医院の数や歯科医にかかる頻度は国ごとに違い、日本と同じようにはいきません。アイケアにしても、日本における自業の市場は800億円規模ですが、アジア地域でこれだけの市場規模を持つ国は他にありません。清潔衛生習慣の啓発活動を通じて商品だけでなく生活習慣も合わせて輸出し、中国、マレーシア、タイなどアジア全域で裾野を広げていきたいと考えています」

越境需要を支えるメイド・イン・ジャパン商品の生産体制の強化も図る。この4月には兵庫・明石で洗口液の新工場がスタート。昨年11月にハブラシの生産を開始した香川・坂出工場には400億円規模の投資をしてハミガキ工場を新設、2021年に稼働を予定している。さらにこの4月、新事業創出プログラム「NOIL」を始動。「ヘルスケアの常識を破る事業」をテーマに従業員からアイデアを募集し、採用された案の提案者がリーダーとなってプロジェクトをけん引、外部会社の協力も得て具現化を目指す試みだ。

「私自身、若い頃に小さなプロジェクトを任せ、技術開発から製品化までのあらゆる工程に携わりました。原価計算、工場の労務管理、試験生産の設備の組み立て、電気配線までやり、おかげで経験値の幅が一気に広がりました。今度は経営者として社員が挑戦する機会を作りたい。輩の薪を弱くように、社内にはいい風を送って社員の情熱の火を大きくすることが、自分の役割だと思っています」

掬川正純さんのおすすめ本棚

- 『イノベーションのジレンマ 増補改訂版』(翔泳社) クレイトン・クリステンセン・著 玉田俊平太・監修 伊豆原弓・訳
業界トップ企業が顧客の声を聞き、新技術に投資しても、なお技術や市場構造の破壊的変化に直面した際、優位性を失ってしまう現象に明確な解を与える。
- 『FACTFULNESS(ファクトフルネス) 10の思い込みを乗り越え、データを基に世界を正しく見る習慣』(日経BP社) ハンス・ロスリング/オーストラリア・ロスリング/アンナ・ロスリング・ロンランド・著 上杉周作/関美和・訳
ファクトフルネスとは、データや事実に基づき、世界を読み解く習慣。賢いほどとらわれる10の思い込みや、世界を正しく見るスキルについて解説。
- 『シリカと私』(東京化学同人) G・アレクサンダー・著 井上勝也・訳 (品切れ・重版未定)
「科学的研究には、高揚と低調、スリルと失望、成功と失敗が付きものである。これらことごと、この本の中で読者に味わってほしい」と著者。シリカの研究物語。
- 『完訳 ファーブル昆虫記』全10冊 (岩波文庫) J.H.ファーブル・著 山田吉彦/林達夫・訳
たゆまぬ努力と忍耐、そして何よりも深い愛情をこめて虫を観察し、推理と実験を重ねて昆虫の本能と習性をつきとめたファーブルの詩情あふれる昆虫記。
- 『大陸と海洋の起源』上・下巻 (岩波文庫) ヴェーゲナー・著 都城秋穂/紫藤文子・訳
大陸は分裂し、移動する。著者が20世紀初めに提唱した大陸移動説は、それまでの地球観を覆す、地球科学上の一つの革命であった。科学史上の記念碑的古典。

者は、新規事業の規模が主流組織の成長需要に対して小さい場合は、スピニングアウト組織が必要だと書いています。しかし当社は同じ組織内で既存事業の拡張と新規事業の開拓を併行させた、との考えです。この点では、「両利きの経営」(東洋経済新報社)に多くの示唆がありました。濱逸夫会長とは、役割分担をしようとして話しています。新規事業の開拓を濱が担い、既存事業の拡張を私が担うというもので、二人三脚でチャレンジを始めています。

私が大学に入る前に通った予備校には教養のある先生が多く、最後の授業で各先生が生徒に言葉を贈るのが恒例になっていました。この際に「社会に出たらデータの洪水に埋もれる。データが本当に正しいか判断する目を持ちなさい」と語った先生の言葉が、いまも「当たり前」や「当たり前」と受け止めたが、FACTFULNESS(ファクトフルネス)は、まさに先生が語られたことを指摘していました。人もメディアも悲観的な世界の見方をしがちなのは、ドラマチックな物語を求めた本能ゆえで、本能的に抑えてきた。人もメディアも悲観的な世界の見方をしがちなのは、ドラマチックな物語を求めた本能ゆえで、本能的に抑えてきた。人もメディアも悲観的な世界の見方をしがちなのは、ドラマチックな物語を求めた本能ゆえで、本能的に抑えてきた。

シリカと私は、入社5年目ぐらいの頃に先輩の紹介で読みました。シリカというのは産業界で用途の多い無機化合物で、工業製品を始め、化粧品や医薬品にも含まれています。私は当時シリカを扱っていて、副産物にシリカを活用する研究をしていました。本書は、デューボン社でシリカにつながる成分を開発しているシリカ研究者の日々の記録です。記されているのは、ノーベル賞級の研究でも大発見でもありません。けれど、好奇心のまま研究に没頭する楽しさや、見当違いや失敗を経て小さな発見をした喜びなどが伝わってくる。自分の境遇と近いこともあって、とても共感しました。

「自分がくだらたら」と 想像して読むと楽しい

シリカと私は、入社5年目ぐらいの頃に先輩の紹介で読みました。シリカというのは産業界で用途の多い無機化合物で、工業製品を始め、化粧品や医薬品にも含まれています。私は当時シリカを扱っていて、副産物にシリカを活用する研究をしていました。本書は、デューボン社でシリカにつながる成分を開発しているシリカ研究者の日々の記録です。記されているのは、ノーベル賞級の研究でも大発見でもありません。けれど、好奇心のまま研究に没頭する楽しさや、見当違いや失敗を経て小さな発見をした喜びなどが伝わってくる。自分の境遇と近いこともあって、とても共感しました。



ブル昆虫記。内容を抜粋した児童書が有名ですが、原書は学術的な価値を持つ大作。グーグリンに對する批判めいたコメントなど、著者の矜持も感じられておもしろかったです。何より文章がすばらしく、ファーブルの昆虫愛が文字からほとばしり出ている。こういう人がいるから科学の進歩があるのだとつくづく思いました。

朝日新聞社メディアビジネス局ウェブサイトでは、掬川正純さんが語るリーダー論を紹介しています。<https://adv.asahi.com/> 朝日新聞 広告 検索

読者から大反響!

「内臓脂肪本の決定版! ここまで丁寧に解説した本は他にない!」(50代男性)

「こんなに手軽ならズボラな私でもできる! 夏本番の前にこっそり実践したい!」(40代女性)

「メタボが気になり自己流で腹筋していた。『ゾンビ体操』なら無理なく続けられる!」(30代男性)

1日5分、トイレでも! 「ゾンビ体操」でダイエット&筋トレ!

内臓脂肪を落とす最強メソッド

池谷敏郎 36歳 Before

50歳を過ぎても体脂肪率10%の名医が教える

「ぽっこりお腹が凹む!」 「若々しくなる!」 「病気リスクも減る!」

「池谷式」ならラクラク簡単、続けやすい!

【基礎知識】内臓脂肪はつきやすく「落としやすい」/高血圧、動脈硬化…病気の10大リスク 【生活習慣】背もたれのない椅子で背筋をまっすぐに/入浴後の「1杯の氷水」 【食事】「ブチ糖質制限」でガマンしない! /食物繊維豊富な「もち麦」/カレーを食べるなら「スープカレー」/ストレス対策! 間食には「まいたけのスープ」/「ケーキ納豆」...etc.

第1位 Amazon.co.jp® 肥満・メタボリックシンドローム 美容・ダイエット・ノンフィクション 老化 健康法(5/22)

東洋経済の本 <https://toyokeizai.net> 〒103-8345 東京都中央区日本橋本町1-2-1 ナビゲイタル 0570-039-104 TEL.03-5605-7021 ●価格は税別。●お求めは書店で。●ご注文の際はISBNコードをご利用ください。 ●主要電子書店で購入できます